

平成29年度「ともに生きる条例」について理解する職員研修（主事・事務員級） アンケート集計結果

	開催日時	参加者数
①	平成29年6月12日 10:00～	38
②	平成29年6月12日 13:30～	40
③	平成29年6月13日 10:00～	44
④	平成29年6月13日 13:30～	37
参加者総数		159

1 業務において障がいのある人に対する合理的配慮を行ったことがありますか？

	ある	ない
①	9	29
②	16	24
③	24	20
④	14	23
合計	63	96

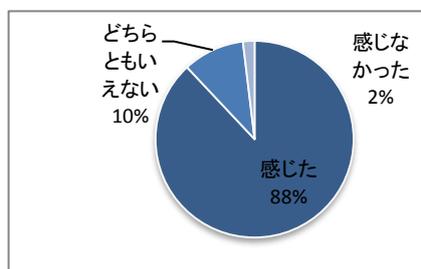
【行った合理的配慮の内容】

- ・エレベーターへの利用案内、ボタンを押す、ドアの開閉など
- ・障がいのある人を救急搬送する際には、障がいに応じて筆談・声の大きさ・速さ・歩行介助
段差等の注意を伝えるようにしている
- ・知的障がい者にゆっくりと分かりやすく説明し、漢字にルビをふったメモを渡した
- ・車いす使用者用に低いテーブルを用意
- ・市民対象の講演会の会場選定で、車椅子の方が参加できる場所を選んだ
- ・メガネや拡大鏡を用意している
- ・手話や筆談、代筆による対応
- ・車椅子の方が利用しやすいように、課のカウンターの高さを変えた
- ・車いすの方の動線やスペースの確保について課内で話し合い、対応した
- ・イベント時の車いす用観覧席の設置
- ・イベント時に段差など通行しにくい場所にスタッフを配置した
- ・発達障がいのある方へ曖昧な表現を避け具体的に説明した
- ・エレベーターやスロープの設置
- ・言葉以外に、絵や写真、身振りなど交えて分かりやすく説明した
- ・聴覚障害の方へ、手話通訳を派遣した
- ・施設を建設する際にバリアフリー対策を行なった
- ・歩道のセミフラット化など
- ・低身長や杖の利用者等、目線の低い方に合わせて目線を低くし、対応する

2 本研修は必要と感じるものでしたか？

① 第1セッション 障害福祉課の説明について

	感じた	どちらともいえない	感じなかった
①	34	3	1
②	35	4	1
③	38	5	1
④	33	4	0
合計	140	16	3



【理由】

- ・合理的配慮について知ることができた
- ・この条例について全く知らなかった
- ・どんな人でも普通に生活できる環境づくりは大切だと思う
- ・具体的な説明がなくては理解が深まらないから
- ・障がいについて知らないことが多かったので非常に勉強になった
- ・機能障害と社会的障壁の違いについて理解することができた
- ・受講の目的が明確に理解できた
- ・条例に対する理解とその必要性を感じられた
- ・障がいの特性に応じた配慮が必要だと感じた
- ・みんな平等であるべきと改めて思った
- ・今まで深く学習する機会がなかったが、市職員として大切なことなので
- ・建物や道路を作るのも使うのも、こういう知識が必要だと感じた
- ・実生活の中でよい配慮と不足している部分とが具体的に学べた

- ・条例の制定背景等を理解することができた
- ・日常業務を行う上で必要な視点であるため
- ・社会的障壁を取り除くことで「障がい」は解消されると理解できた
- ・業務だけでなく私生活でも重要な考え方だと思うから
- ・よりよい市民サービス、住みやすい街づくりのために必要であると感じた
- ・できる配慮が思っていたより多く、大切だと感じた
- ・基礎となる概念を知ることによって情報が入りやすくなるから
- ・条例の考え方を理解でき、また障害のある人がどういった状況に置かれているかを知る重要な機会だと思った
- ・健常者でもいつ障がいを持つかわからないので、すべての人が住みやすい環境を整えることは重要

「どちらともいえない」

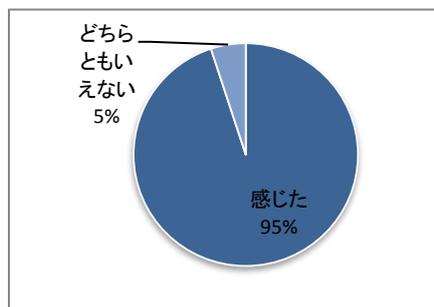
- ・事前の資料配布でもいいと思う
- ・知っている内容だったから
- ・条例に明記してあることの復唱だと感じた
- ・もっと具体的に事例を聞いたかった
- ・日頃から意識している内容だったため
- ・淡々と話して、内容が頭に入らなかった

「感じなかった」

- ・固い文章を聞いても何も感じなかった
- ・概要の説明だけなので中身が薄かった

2② 第2セッション 当事者講師団講義について

	感じた	どちらともいえない	感じなかった
①	36	2	0
②	38	2	0
③	41	3	0
④	36	1	0
合計	151	8	0



【理由】

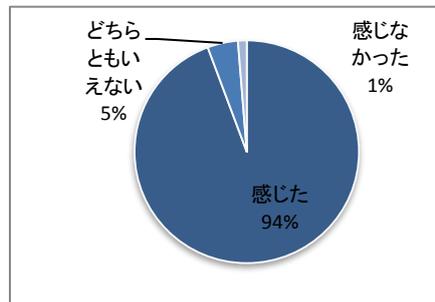
- ・当事者しか分からない苦労や周囲の人に配慮して欲しいことなどがわかった
- ・体験談を聞き、設備の重要性について認識できた
- ・当事者の話は自分達の想像をはるかに超える
- ・当事者の話は説得力があり、かつ身近なものとして感じられるため
- ・当事者の話を聴くと、自分が感じたことのない気持ちを感じられる
- ・困っている人を助けたいという気持ちになりました
- ・当事者にしか分からないことを教えてもらいたい
- ・当事者の意見を聴ける機会はなかなかないため
- ・避難所にも気付かないところで、障壁がたくさんあると思った
- ・特に交通機関における配慮は大切なものだと感じた
- ・市役所内でどんな困りごとを感じるかを具体的に聞けるとよかった
- ・体験談は文章で読むより聴くほうが過酷さが伝わってくる
- ・リアリティのある講話だった
- ・色々な種別の当事者の話も聞いてみたいと思った
- ・当事者の率直な気持ちと家族の支えの大切さを知ることができた
- ・字の読み書きができることが幸せだと感じたので、視覚障害のある人に少しでも力になれることがあれば、と思いました
- ・日常生活の大変さや周囲の援助の大切さなど学ばせてもらった
- ・白杖の意味を知らなかったので、今後は気をつけたい
- ・配慮するのとされるのでは受け取り方が違うのだと感じた
- ・健常者にとって色々考えるきっかけを与えてくれたと思います
- ・家族の思いを聞く貴重な機会となった
- ・自分に置き換えるとその大変さがわかる話であるため
- ・他人事ではないと感じた。障がい児の保護者の思いを知ることができた

「どちらともいえない」

- ・レジュメがあるとよかった

2③ 第3セクション 体験について

	感じた	どちらともいえない	感じなかった
①	38	0	0
②	36	4	0
③	40	2	2
④	36	1	0
合計	150	7	2



【理由】

- ・普段何気なくやっていることも難しく感じ、声かけの仕方など気をつけなければいけないと思った
- ・段差もアイマスクも介助なしではできなかったため、周囲の協力の必要性を感じることができた
- ・些細なことがいかに難しいかを感じた
- ・自身の身を持って体験できるので、立場の理解を深められる
- ・障害のある人をしっかり支えてあげなければ、と思った
- ・今まで気づかなかったことが障壁となりうることが分かった
- ・自分で体験することによって、困難をほんの一部でも実感することができた
- ・身を以って合理的配慮の重要性を知った
- ・体験すると大変なことが分かり、バリアフリーは必要であると感じた
- ・自分が当たり前に行えることがどんなに困難かを知った
- ・相手の立場に立つことの必要性を実感できた
- ・知識だけでは分からない大変さを知った
- ・流れて行っている動作の一つ一つに制約がかかることの不便さを知った
- ・体験することで当事者の恐怖や困りを知ることができたため
- ・今後もこのような体験は必要だと思う
- ・実際に体験し、障がい者の視点を取り入れることが大事だと思った
- ・社会で生きていくうえでの大変さを感じた
- ・介助の難しさもあるのだということが分かりました
- ・初めての体験で、驚きが大きかったです
- ・案内する側も大変だなと思った。普段からそういう方が市役所には来るといいうことをイメージしておいたほうがいいですね
- ・あったら嬉しいサポートがわかりました
- ・実際に体験し、障がいを持つ人々の気持ちを知ることが必要です

【視覚障がいの体験】

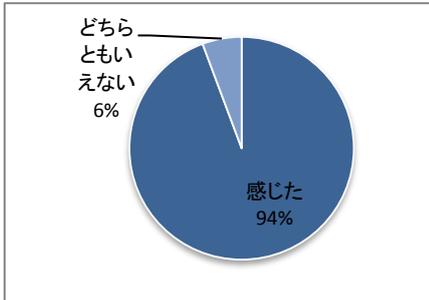
- ・思っていたよりずっと不安を感じた
- ・目が見えないことがこんなに怖いのかと思った
- ・介助する側の声かけも難しさを感じた
- ・とても恐怖を感じました
- ・エスコートする人との信頼関係も大切だと思った
- ・アイマスクで歩く経験など初めてなので、体験できてよかった

【車イスの体験】

- ・どのように車いすを動かしてほしいかを体験することができました
- ・少しの段差も障壁になるのだなあと、いい体験ができた
- ・初めて段差の怖さを知りました
- ・もったつい段差や傾斜も体験してみたかった

2④ 全体をととして

	感じた	どちらともいえない	感じなかった
①	37	1	0
②	37	3	0
③	40	4	0
④	36	1	0
合計	150	9	0



【理由】

- ・普段経験できないことなので、とてもよい研修になった
- ・街中でもそういった人がいるかもと意識できると思う
- ・内部障害というもの初めて知った
- ・この研修を受けるまで知らなかったことがたくさんあり、考えを改めるいいきっかけになった
- ・障がいを持つ人の気持ちを一人でも多く知ってもらえるから
- ・体験もできて、充実した研修でした
- ・障害のある人の目線で考えられるよい機会になった
- ・今後もこのような研修を続けていったほうがいいと思います
- ・何がその人にとっての障壁なのかを理解し、接していきたい
- ・講演、体験ともに心に残るものでした
- ・同じ立場に立って考える機会が必要と思う
- ・障害のある人へ配慮する心遣いを学べた
- ・普段生活していて何気なくしていることが難しい人もいるのだとわかった
- ・これからの職務、私生活に役立つと思った
- ・他人事と考えている人が多い中で、少しでも理解を示し行動できるよう研修を受けた私たちが伝えていかなければならないと思った
- ・行政職員として必要な知識を学べたため
- ・これからの社会において欠かせない視点である
- ・ともに生きる条例はとても大切
- ・普段ここまで考えることがなかったので、定期的にこのような研修があるといいと思います
- ・意識して今後の業務に取り入れていきます
- ・別府市の職員として、障害のある人へどのようなことをしていかなければならないのか考えることができた
- ・社会がよりよくなるために必要だと思った
- ・ともに生きることを意識しなければならない
- ・障害のある人に対して、少しでも力になれることがあればなりたいと思った
- ・頭では理解できているつもりでも、改めて考え直す機会となり、実践につながります
- ・効率のよい研修だったと思います。内容も職員というより人として必要な研修だと感じます
- ・本当に今まで知らなかった多くのことを知ることができました
- ・障がいを持った人はもちろん、何か困っている人への思いやりの気持ちは非常に大切だと改めて感じる事ができました
- ・これからの社会には必要な研修だと思います
- ・誰にとっても受けられるサービスであるように考える視点が大切です
- ・いろんな職種が一堂に集まり、共通の話題に触れる研修は必要です
- ・職場で合理的配慮を行ったことはまだないが、いつでも対応できるように勉強すべきだと思う
- ・障がいの当事者が周りにいないとなかなか関心を持たないし、いざというときにどうしたらいいかわからないから
- ・今回の研修の内容を家族や友人に伝えたいと思った
- ・公務員として必要な研修です
- ・他人事だと思っていたが、真剣に考えなければならぬことだと思った
- ・ただ話を聞くよりも理解が深まりました
- ・市職員だけでなく、広く市民にも聞いてもらいたい研修です

【どちらともいえない】

- ・時間が少し長いと思った
- ・より具体的な配慮についての説明が欲しかった

3 研修会で学んだことを今後の職務にどのように取り入れますか。

- ・障害のある方が来所されたときには、その方が他の人と同じように対応してもらえたと感じてもらえるよう、日頃から対応について考えていきたい
- ・職務上でも私生活でも、障害のある人に対して少しでもサポートしていきたいと思う
- ・困りの場面では積極的に声をかけていきたい
- ・業務上、接する機会が多いので、もしかしたら当事者かもしれないと思って対応していきたい
- ・外見で判断できない内部障害というものがあることを知ったので、災害現場等での対応に注意していきたい
- ・職務に関わらず、人として「助けを求めている人」を見逃さないようにする
- ・本庁舎はバリアフリーに対応している建物とは言い難いが、建物を良くすることだけが社会的障壁を取り除くのではなく、相手に対して心ある対応を心がけて職務を遂行していきたいと思う
- ・業務でも私生活でも障害のある人がいれば、優しく手を差し伸べてあげたいと思う。障がいのある方の不自由さを経験できたからこそ少しでも不自由さをなくしていきたいと思いました
- ・ともに生きること、区別・差別ではなく、一緒に生きていることを意識していきたい
- ・新しい行事など考えるときには、様々な人の視点を考えていく必要があると思った
- ・講習会などで、障害のある人に対する協力をお願いする
- ・施設を整えるのは時間がかかるので、人的介助を意識して取り組んでいきたい
- ・障害のある人に対して自分で考えられる配慮を、日々の業務内で行うことから始めていきます
- ・自助が難しいので、共助の重要性を多くの人に理解してもらいたいと思います
- ・業務の中で障害のある人と関わることがあるので、今後よく考えていきたいと思います。また、災害弱者にもなってしまうので、配慮をしていかなければならないと思いました
- ・体験したことを忘れず、誰しも平等であるということを念頭に、率先して行動できるよう職務に励みます
- ・新たに事業を行なう際にも、企画の時点で合理的配慮の視点に立った提案をしていきたい
- ・一人ひとり特性は違うので、一様な対応にならないよう、相手の意図を汲み取りながら接客していきたい
- ・合理的配慮を行うには、人によって異なる特性を知ることが大切であり、障害のある人のニーズにも傾聴していきたい
- ・健常者の利用者だけでなく、行動に制約の係る状態も考えて設計・管理できるものを作らなければならない
- ・バリアフリーが叫ばれている今日においてもまだ足りないと感じるので、古い施設の改修推進等に活かしていきたいと思います
- ・合理的配慮が「当たり前」になるように努力しなければならないと思いました
- ・どのような方が来ても、こうして欲しいという要望には丁寧に応えたいと思います
- ・どのように援助するのか、どこが危険・不便なのかシミュレーションしておき、いざというときに対応できるようにしたい
- ・社会的障壁をいかに取り除くかという視点で、役所を訪れる方々と接するようにしたいと思います

4 その他研修全般について、ご意見がありますか

- ・市全体として、社会的障壁を取り除くために具体的にどういったことを行なっているのか、どういったことを実践していけばいいかを示していただければと思います
- ・ほかの障がい体験もしてみたいです
- ・とてもよい機会になりましたが、時間が少し短く感じました。講師の課後実際に話し合う時間があるとさらに理解が深まるのでは
- ・車いすの台数が少ないので待ち時間が長かった
- ・バリアフリーの施設がもっと増えるといいなと思いました
- ・合理的配慮は非常に重要だと思うし、体験や講話はいいものだったと思うが、ほとんどがシナリオを読み上げる形なので、身になりにくさを感じた。研修の実施方法を考える必要があると感じた
- ・精神障がいの当事者の生の声を聞く機会はあまりないので貴重な講演でした。なかなか理解されにくい障がいのひとつだと思いますので、今後もこの分野に力を入れていただきたいと思います
- ・今回の研修は職員だけでなく、市民の方々にも受けていただきたいようなすばらしい研修だと思います
- ・精神病の方への合理的配慮についてももう少し学びたい（窓口に多くいらっしゃるため）
- ・精神障がいの方と触れ合える研修をしたら、よりよいと思います
- ・市民と多く接する部署では、非常勤職員も含めて全員に受講してもらおう方がいいと思います
- ・ユニバーサルデザインの物品など見て触れる機会があるといいです
- ・この研修は新採用職員研修にも組み込んだほうが良いと思う
- ・別府市には条例やガイドラインがあるのに、一部の職場だけがバリアフリーでないことに疑問を感じた
- ・座学だけでなく体験することができ、話を聞くだけでは分からない大変さを知ることができました。楽しい研修でした
- ・説明、講義、体験と、とてもバランスのよい研修だと思いました
- ・条例制定後の取り組みを知りたかった。ソフト面（研修など）のみでなくハード面（施設の改善など）を聞いてみたかった
- ・定期的な開催を希望します
- ・車椅子のデモで「ああやって声をかけるのか」と分かりやすかった。同じようにもっと見本があれば、分かりやすいと思う
- ・今まで当事者意見を聞く事がなかったので、貴重なものだった
- ・別府市役所で行った、合理的配慮の事例紹介が聞きたかった